

Dell UP2516D/UP2716D ユーザーガイド

モデル番号: UP2516D/UP2716D
規制モデル: UP2516Dt/UP2716Dt





注意: 注意は、コンピューターのより良い使用を助けるための重要な情報を示します。



警告: 警告は、もし指示に従わない場合は、ハードウェアに対する損傷またはデータ損失が
起こりうることを示します。



危険: 危険は器物損壊、怪我、死亡に繋がる可能性を示します。

Copyright © 2015-2019 Dell Inc. All rights reserved. 本製品は米国および国際的な著作権法および知的財産法で保護されています。

Dell™およびDellのロゴは、米国および/またはその他の地域におけるDell Inc.の商標です。ここに記載されているその他のマークおよび名称は、各社の商標である場合があります。

内容

お使いのモニターについて	5
パッケージの内容	5
機能	6
部品とコントロール	7
仕様	10
プラグアンドプレイ	22
LCDモニター品質とピクセルポリシー	22
モニターの設定	23
スタンドの取り付け	23
傾け、旋回させ、垂直に伸ばす	26
システムの「ディスプレイ回転設定」の調整	27
モニターの接続	27
まとめケーブル	31
モニタースタンドの取り外し	31
壁取り付け(オプション)	32
モニターの操作	33
モニターの電源を入れる	33
フロントパネルコントロールの使用	33
オンスクリーンディスプレイ(OSD)メニューの使用	35
トラブルシューティング	52
セルフテスト	52

共通の問題	54
製品固有の問題	55
モバイル高品位リンク(MHL)に特有の問題	56
付録	57
安全上の注意	57
FCC通知(米国のみ)およびその他規制情報	57
Dellに連絡	57
モニタのセットアップ	58
お手入れのガイドライン	59



お使いのモニターについて

パッケージの内容

モニターは下記で示されるコンポーネントが同梱されています。すべてのコンポーネントが含まれていることを確認し、何か足りない場合には[Dellにご連絡](#)ください。

注意: 一部の品目はオプションで、モニターには同梱されていないことがあります。ご使用の国によっては、一部の機能またはメディアが利用できないことがあります。

	モニター
	スタンドライザー
	スタンド台
	電源ケーブル(国によって異なります)
	USB 3.0アップストリームケーブル (モニターのUSBポートを有効にします)

	DPケーブル(ミニDP対DP)
	<ul style="list-style-type: none"> • 簡単セットアップガイド • 安全規制情報 • 出荷時校正レポート

機能

Dell UP2516D/UP2716Dフラットパネルディスプレイは、アクティブマトリクス、薄膜トランジスタ (TFT)、液晶ディスプレイ (LCD)、LEDバックライトを有します。モニターの特徴は次のとおりです。

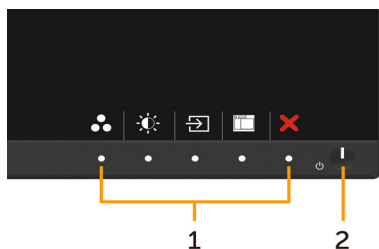
- **UP2516D:** 63.44cm (25インチ) 表示可能領域のディスプレイ (対角で測定)。解像度 2560 x 1440。それ以下の解像度に対してはフルスクリーン対応。
- **UP2716D:** 68.47cm (27インチ) 表示可能領域のディスプレイ (対角で測定)。解像度 2560 x 1440。それ以下の解像度に対してはフルスクリーン対応。
- 傾き、スイベル、ピボット、垂直延長調整機能。
- 取り外し可能なスタンドと自由自在な取り付けが可能な VESA (ビデオエレクトロニクススタンダーズアソシエーション) 100mm 取り付け穴。
- 超薄型ベゼルが、マルチモニター使用時のベゼルギャップを最小限に抑え、簡単な設定をするだけでスマートな視聴体験を楽しめます。
- DP、mDP、HDMI (MHL)、USB 3.0を使った広範囲にわたるデジタル接続が可能であるため、モニターを将来長く使用できます。
- ハイダイナミック コントラスト率 (2,000,000:1)。
- 主要な業界基準に準拠: 100% AdobeRGB、100% sRGB、100% REC709、98% DCI-P3。
- ご利用のシステムがサポートする場合のプラグアンドプレイ機能。
- 簡単設定と画面の最適化を可能にするオンスクリーンディスプレイ (OSD) 調整。
- スタンドロック。
- アセットマネジメント機能。
- RoHS準拠。
- BFR/PVCを含まないモニター(ケーブルを除く)。
- ヒ素を含まないガラスと水銀を含まないパネル(のみ)。
- エネルギーゲージには、モニターが消費しているエネルギーレベルがリアルタイムで表示されます。
- スリープモード時には0.3 Wの待機電力。
- TCO認定ディスプレイ。

部品とコントロール

前面ビュー



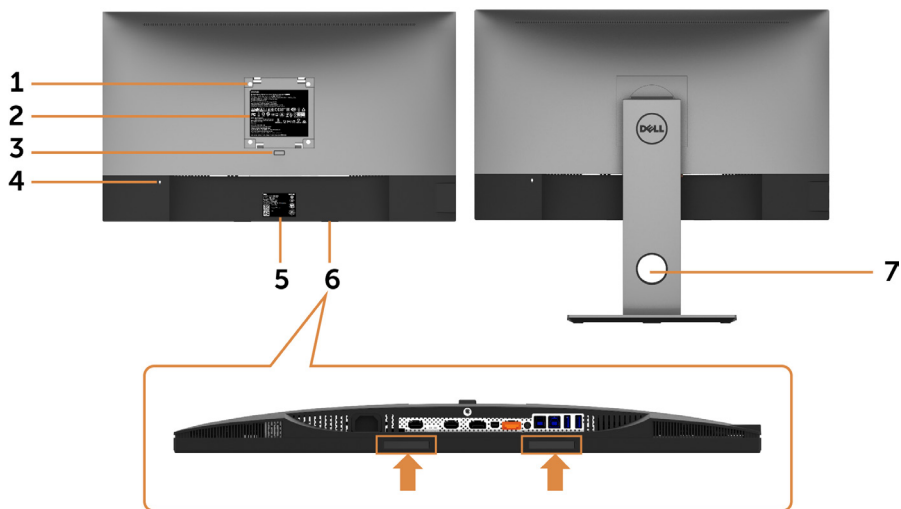
正面図



前面パネルのコントロール

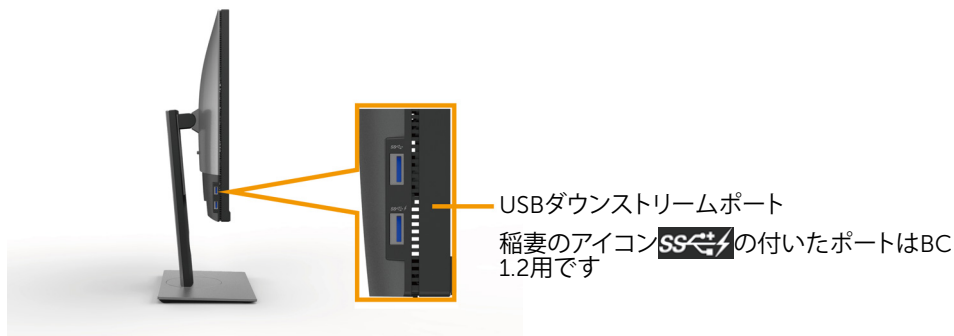
ラベル	説明
1	ファンクションボタン (詳細は モニターの操作 を参照ください)
2	電源オン/オフボタン (LEDランプあり)

背面ビュー

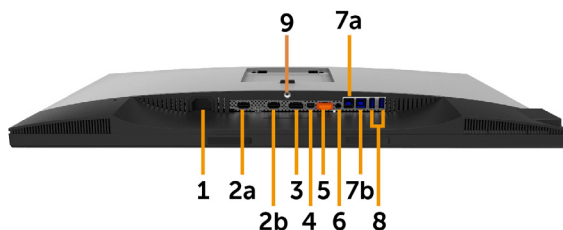



ラベル	説明	目的
1	100 mm x 100 mmのVESA取り付け穴 (VESAカバーの下)	VESA互換壁取り付けキット(100 mm x 100 mm)を使用する壁取り付けモニター。
2	規制ラベル	規制承認をリストします。
3	スタンドリリースボタン	スタンドをモニターから外します
4	セキュリティロックスロット	モニターを固定するために、セキュリティロックを使用します (別売)。
5	バーコード、シリアル番号、サービススタグラベル	技術サポートを受けるためにDellに連絡する際に、このラベルを参照します。
6	Dellサウンドバー取付ブラケット	オプションの Dell サウンドバーを取り付ける。 注意: デルサウンドバーを取り付ける前に取付スロットを覆っているプラスチックのカバーを取り除いて下さい。Dellサウンドバーは別売りです。
7	ケーブル管理スロット	スロットを通して配置することで、ケーブルをまとめるために使用します。

側面ビュー



底面ビュー



ラベル	説明	目的
1	AC電源コードコネクタ	電源ケーブルを接続してください。
2a	HDMI (MHL) 1ポート	HDMIケーブルを使用してコンピューターに接続、またはMHLケーブル(オプション)を使用してMHLデバイスに接続します。
2b	HDMI (MHL) 2ポート	
3	DPコネクタ (イン)	コンピューターの DP ケーブルを接続してください。
4	mDPコネクタ (イン)	コンピューターをmDP-DPケーブルに接続します。
5	DPコネクタ (アウト) 	MST (マルチストリームトランスポート)対応モニター用のDP出力。DP 1.1モニターは、MSTチェーンの最後のモニターとしてのみ接続できます。MSTを有効にするには、「 DP MST機能用モニターを接続する 」セクションの取扱説明を参照してください。 注意: ディスプレイポート出力コネクタを使用する場合には、ゴム製のプラグを取り外してください。
6	音声ライン出力ポート	HDMIまたはDPオーディオチャンネルからの再生オーディオをスピーカーに接続します。2チャンネルオーディオのみサポートしています。 注意: オーディオライン出力ポートは、ヘッドフォンをサポートしていません。 ⚠危険: イヤホンやヘッドフォンからの過剰な音圧は、聴覚の損傷や難聴の原因となります。

7a	USB 1アップリストリームポート	モニターに付属するUSBケーブルをコンピューターに接続します。このケーブルが接続されたら、モニターのUSBダウンストリームコネクタを使用することができます。
7b	USB 2アップリストリームポート	
8	USBダウンストリームポート(2)	USBデバイスを接続します。USBケーブルをお使いのコンピューターおよびモニターのUSBアップストリームコネクタに接続した場合のみ、これらのコネクタを使用することができます。
9	スタンドロック	M3 x 6 mm ネジを使ってスタンドをモニタにロックする (ネジは含まれていません)

仕様

パネル

モデル	UP2516D	UP2716D
スクリーンタイプ	アクティブマトリクス - TFT LCD	アクティブマトリクス - TFT LCD
パネルタイプ	IPS方式	IPS方式
表示可能画像:		
対角	63.44cm (25インチ)	68.47cm (27インチ)
アクティブ領域:		
水平	552.96mm (21.77インチ)	596.74mm (23.49インチ)
垂直	331.04mm (12.25インチ)	335.66mm (13.21インチ)
領域	171,992.68mm ² (266.59インチ ²)	200,301.75mm ² (310.47インチ ²)
ピクセルピッチ	0.216 mm x 0.216 mm	0.2331 mm x 0.2331 mm
視野角:		
水平	178°標準値	178°標準値
垂直	178°標準値	178°標準値
輝度出力	300cd/m ² (標準値)	300cd/m ² (標準値)
コントラスト比	1000:1 (標準値) 2,000,000:1 (動的コントラスト オン)	1000:1 (標準値) 2,000,000:1 (動的コントラスト オン)
表面コート	フロント偏光板(3H)のアンチグレア処理	フロント偏光板(3H)のアンチグレア処理
バックライト	LED	LED
応答時間	14ms (標準)、6 ms (高速モード)	14ms (標準)、6 ms (高速モード)
色深度	10.7億色	10.7億色

色域	100% AdobeRGB 100% sRGB 100% REC709 98% DCI-P3	100% AdobeRGB 100% sRGB 100% REC709 98% DCI-P3
----	---	---

解像度の仕様

水平スキャン範囲	30 kHzから88 kHz
垂直スキャン範囲	50 Hzから75 Hz
事前設定の最高解像度	2560 x 1440、60Hz
ビデオ表示機能(DPとHDMIとMHL再生)	480i, 480p, 576i, 576p, 720p, 1080i, 1080p, QHD

プリセットディスプレイモード

ディスプレイモード	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセルクロック (MHz)	同期極性 (水平/垂直)
720 x 400	31.5	70.0	28.3	-/+
VESA, 640 x 480	31.5	60.0	25.2	-/-
VESA, 640 x 480	37.5	75.0	31.5	-/-
VESA, 800 x 600	37.9	60.0	40.0	+/+
VESA, 800 x 600	46.9	75.0	49.5	+/+
VESA, 1024 x 768	48.4	60.0	65.0	-/-
VESA, 1024 x 768	60.0	75.0	78.8	+/+
VESA, 1152 x 864	67.5	75.0	108.0	+/+
VESA, 1280 x 1024	64.0	60.0	108.0	+/+
VESA, 1280 x 1024	80.0	75.0	135.0	+/+
VESA, 1600 x 1200	75.0	60.0	162.0	+/+
VESA, 1920 x 1080	67.5	60.0	148.5	+/+
VESA, 2048 x 1080	26.27	24	58.22	+/-
VESA, 2048 x 1080	66.58	60	147.16	+/-
VESA, 2560 x 1440	88.8	60.0	241.5	+/-

MHLソース表示モード

ディスプレイモード	周波数 (Hz)
640 x 480p	60
720 x 480p	60
720 x 576p	50
720 (1440) x 480i	60
720 (1440) x 576i	50
1280 x 720p	60
1280 x 720p	50
1920 x 1080i	60
1920 x 1080i	50
1920 x 1080p	30
1920 x 1080p	60

MSTマルチストリーム転送 (MST) モード



MSTソース監視	対応している外部モニター最大数		
	2560 x 1440/60 Hz	1920 x 1200/60 Hz	1920 x 1080/60 Hz
2560 x 1440/60 Hz	1	2	2

注意: サポートされる最大外部モニター解像度は 2560x1440 60Hz のみです。

電氣的仕様

ビデオ入力信号	<ul style="list-style-type: none">それぞれの微分直線に対するデジタルビデオ信号。100オームインピーダンスでの微分直線ごとに。DP/HDMI/MHL信号入力サポート
入力電圧/周波数/電流	100 VAC~240 VAC / 50 Hzまたは60 Hz ± 3 Hz / 1.6 A (最大)
突入電流	120 V:30 A (最大) 240 V:60 A (最大)

物理特性

モデル	UP2516D	UP2716D
コネクタタイプ	<ul style="list-style-type: none"> • DP コネクタ (include DP in and DP out) • mDP コネクタ • HDMI (MHL) 1/HDMI (MHL) 2 コネクタ • オーディオラインアウト • USB 3.0アップストリームポートコネクタ。 • USB 3.0ダウンストリームポートコネクタ x 4個。 (稲妻のアイコン  の付いたポートはBC 1.2用です)	<ul style="list-style-type: none"> • DP コネクタ (include DP in and DP out) • mDP コネクタ • HDMI (MHL) 1/HDMI (MHL) 2 コネクタ • オーディオラインアウト • USB 3.0アップストリームポートコネクタ。 • USB 3.0ダウンストリームポートコネクタ x 4個。 (稲妻のアイコン  の付いたポートはBC 1.2用です)
シグナルケーブルタイプ	mDP-DP 1.8 Mケーブル。 USB 3.0 1.8 M cable.	mDP-DP 1.8 Mケーブル。 USB 3.0 1.8 M cable.
寸法(スタンドあり):		
高さ(拡張)	528.0mm (20.79インチ)	540.3mm (21.27インチ)
高さ(圧縮)	398.0mm (15.67インチ)	410.3mm (16.15インチ)
幅	567.7mm (22.35インチ)	611.4mm (24.07インチ)
奥行き	200.3 mm (7.89インチ)	200.3 mm (7.89インチ)
寸法(スタンドなし):		
高さ	337.9mm (13.30インチ)	362.5mm (14.27インチ)
幅	567.7mm (22.35インチ)	611.4mm (24.07インチ)
奥行き	51.6mm (2.03インチ)	51.4mm (2.02インチ)
スタンド寸法:		
高さ(拡張)	433.4mm (17.06インチ)	433.4mm (17.06インチ)
高さ(圧縮)	387.2mm (15.24インチ)	387.2mm (15.24インチ)
幅	292.4mm (11.51インチ)	292.4mm (11.51インチ)
奥行き	200.3mm (7.89インチ)	200.3mm (7.89インチ)
重量:		
パッケージ含む	8.80kg (19.40ポンド)	9.52kg (20.99ポンド)
組み立てスタンドとケーブル含む	6.96kg (15.34ポンド)	7.42kg (16.36ポンド)
スタンド、ケーブルなし (壁取り付けまたは VESAマウント用)	4.10kg (9.04ポンド)	4.56kg (10.05ポンド)
組み立てスタンドの	2.55kg (5.62ポンド)	2.55kg (5.62ポンド)
フロントフレーム光沢	5.5 ± 1.5 GU	5.5 ± 1.5 GU

環境特性

モデル	UP2516D/UP2716D
温度:	
動作	0°C to 35°C (32°F to 95°F)
非動作	-20°C to 60°C (-4°F to 140°F)
湿度:	
動作	10%から80%(結露なし)
非動作	5%から90%(結露なし)
高度:	
動作	最高5,000m(16,404フィート)
非動作	最高12,192m(4万フィート)
熱出力	443.7 BTU/時(最大) 153.6 BTU/時(標準値)

電源管理モード

お使いのコンピューターにVESAのDPM準拠ディスプレイカードまたはソフトウェアがインストールされている場合、モニターが使用中でないときには、自動的に消費電力を低減します。これは電源セーブモードです*。コンピューターがキーボード、マウス、その他の入力デバイスからの入力を検出すると、モニターは自動的に機能を再開します。次の表は消費電力と省電力モードの信号を示しています。

VESAモード	水平同期	垂直同期	ビデオ	電源ランプ	消費電力
通常動作	アクティブ	アクティブ	アクティブ	白	130W(最大)** 45W(通常)
アクティブオフモード	無効	無効	オフ	白(ゆっくりと点滅)	0.3W未満
スイッチオフ	-	-	-	オフ	0.3W未満

UP2516D

消費電力 P _{on}	27.52 W
総エネルギー消費量 (TEC)	87.51 kWh

UP2716D

消費電力 P _{on}	28.2 W
総エネルギー消費量 (TEC)	89.3 kWh

OSDは通常動作モードでのみ機能します。アクティブ-オフモードのときに任意のボタンを押すと、次のメッセージが表示されます。

PCからの信号なし。

キーボードのキーをどれでも押すか、マウスを動かすと復帰します。

何も表示されない場合は、今すぐモニタボタンを押して、オンスクリーンディスプレイメニューから正しい入力ソースを選択してください。

*OFFモードのゼロ消費電力は、モニターから電源ケーブルを抜いた場合のみ達成できます。

**最大輝度による最大消費電力とUSBアクティブ。

本書は情報提供のみを目的としており、実験室での性能を記載しております。お買い求めになった製品はご注文されたソフトウェア、コンポーネント、周辺機器によっては異なる性能を示すことがあります。かかる情報を更新する義務はその製品にありません。そのため、電気の許容範囲やその他について意志決定するとき、お客様はこの情報に頼るべきではありません。精度または完全性に関しては、明示的にも黙示的にも何の保証もありません。

OSDにアクセスするためにコンピューターとモニターをアクティブにします。

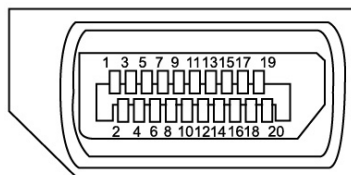
注意:

P_{on}: ENERGY STAR試験方法に参照して計測された「オンモード」の消費電力。

TEC: ENERGY STAR試験方法に参照して計測されたkWh単位の総エネルギー消費量。

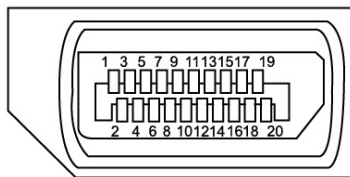
ピン割当

DPコネクタ (イン)



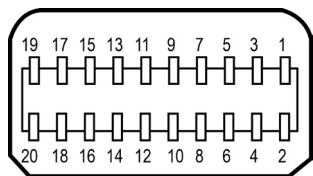
ピン番号	接続された信号ケーブルの20ピン側
1	ML3(n)
2	GND
3	ML3(p)
4	ML2(n)
5	GND
6	ML2(p)
7	ML1(u)
8	GND
9	ML1(p)
10	ML0(n)
11	GND
12	ML0(p)
13	CONFIG1
14	CONFIG2
15	AUX CH (p)
16	GND
17	AUX CH (n)
18	ホットプラグ検出
19	復帰
20	DP_PWR

DPコネクタ (アウト)



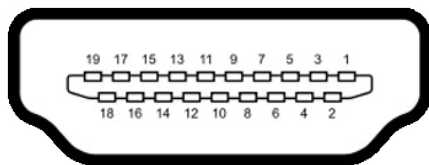
ピン番号	接続された信号ケーブルの20ピン側
1	ML0(p)
2	GND
3	ML0(n)
4	ML1(p)
5	GND
6	ML1(n)
7	ML2(p)
8	GND
9	ML2(n)
10	ML3(p)
11	GND
12	ML3(n)
13	CONFIG1
14	CONFIG2
15	AUX CH (p)
16	GND
17	AUX CH (n)
18	ホットプラグ検出
19	復帰
20	DP_PWR

mDPコネクタ



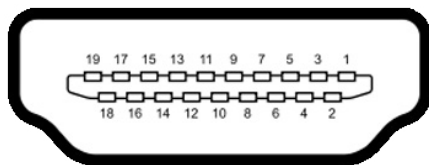
ピン番号	接続された信号ケーブルの20ピン側
1	GND
2	ホットプラグ検出
3	ML3 (n)
4	CONFIG1
5	ML3 (p)
6	CONFIG2
7	GND
8	GND
9	ML2 (n)
10	ML0 (p)
11	ML2 (p)
12	ML0 (p)
13	GND
14	GND
15	ML1 (n)
16	AUX (p)
17	ML1 (p)
18	AUX (n)
19	GND
20	DP_PWR

HDMIコネクタ



ピン番号	接続された信号ケーブルの19ピン側
1	TMDSデータ2+
2	TMDSデータ2シールド
3	TMDSデータ2-
4	TMDSデータ1+
5	TMDSデータ1シールド
6	TMDSデータ1-
7	TMDSデータ0+
8	TMDSデータ0シールド
9	TMDSデータ0-
10	TMDSクロック+
11	TMDSクロックシールド
12	TMDSクロック-
13	CEC
14	使用不可(デバイス無接続)
15	DDCクロック(SCL)
16	DDCデータ(SDA)
17	DDC/CECグラウンド
18	+5V電源
19	ホットプラグ検出


MHLコネクタ




ピン番号	接続された信号ケーブルの19ピン側
1	N/C
2	CD_SENSE
3	N/C
4	N/C
5	TMDS_GND
6	N/C
7	MHL+
8	MHL_Shield
9	MHL-
10	N/C
11	TMDS_GND
12	N/C
13	N/C
14	N/C
15	CD_PULLUP
16	N/C
17	VBUS_CBUS_GND
18	VBUS
19	CBUS
2Shell	シールド

ユニバーサル・シリアルバス (USB) インターフェース

このセクションでは、モニターで利用できるUSBポートについての情報を提供します。

注意: BC 1.2準拠のデバイスのUSBダウンストリームポート (稲妻のアイコン  の付いたポート) で最大2 A、その他の3つのUSBダウンストリームポートで最大0.9 A。

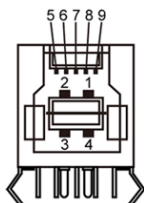
お使いのコンピューターには次のUSBポートがあります。

- 1xアップストリーム - 下部
 - 4xダウンストリーム - 左側に2つ、下部に2つ
- 充電ポート - 背面カバーのポート (稲妻のアイコン  の付いたポート) は、デバイスがBC 1.2に対応している場合、急速電流充電をサポートします。

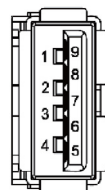
注意: モニターのUSBポートは、モニターの電源がオンまたは省電力モードのときだけ動作します。モニターの電源を切り、その後オンにした場合、接続された周辺機器は、通常の動作を再開するまでに数秒かかることがあります。

転送速度	データレート	消費電力
スーパースピード	5Gbps	4.5W (最大、各ポート)
ハイスピード	480Mbps	2.5W (最大、各ポート)
フルスピード	12Mbps	2.5W (最大、各ポート)

USBアップストリームポート



USBダウンストリームポート



ピン番号	信号名
1	VBUS
2	D-
3	D+
4	GND
5	StdB_SSTX-
6	StdB_SSTX+
7	GND_DRAIN
8	StdB_SSRX-
9	StdB_SSRX+
シールド	シールド

ピン番号	信号名
1	VBUS
2	D-
3	D+
4	GND
5	StdA_SSRX-
6	StdA_SSRX+
7	GND_DRAIN
8	StdA_SSTX-
9	StdA_SSTX+
シールド	シールド

プラグアンドプレイ

任意のプラグアンドプレイ互換コンピューターにモニターをインストールすることができます。モニターは自動的にディスプレイデータチャンネル (DDC) プロトコルを使用したコンピューターに、拡張ディスプレイ識別子データ (EDID) を提供し、コンピューターは自身を構成し、モニター設定を最適化します。ほとんどのモニターのインストールは自動です。希望があれば、別の設定を選択できます。モニターの設定で、モニター設定変更についての詳細情報が必要な場合には、[モニターの操作](#)を参照ください。

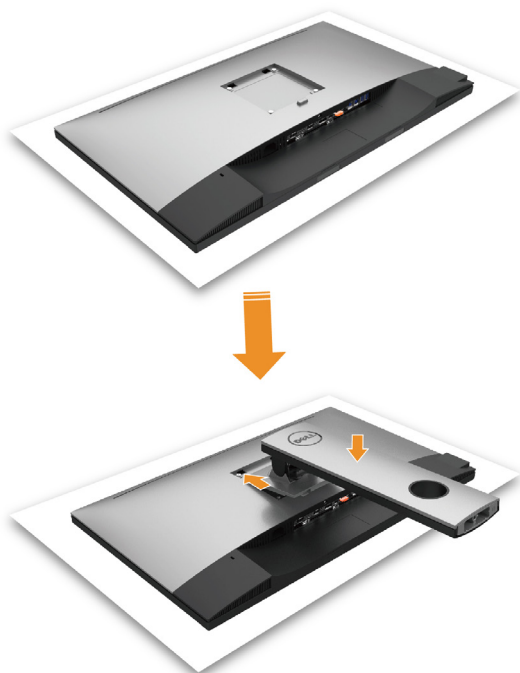
LCDモニター品質とピクセルポリシー

LCDモニター製造プロセスでは、1つ以上のピクセルが不変状態で固定されてしまうことは珍しくありません。これらは確認することは難しく、ディスプレイの品質や使いやすさには影響しません。Dellモニター品質とピクセルポリシーについての詳細は、www.dell.com/support/monitorsを参照ください。

モニターの設定

スタンドの取り付け

- 📎 **注意:** 工場からモニターが出荷される際には、スタンドライザーとスタンド台は取り外されています。
- 📎 **注意:** 付属スタンドを取り付けるには、以下の手順を実行します。他のスタンドを購入された場合は、スタンドに付属された説明書を参照してください。
- ⚠ **警告:** ディスプレイパネルを傷つけないように、清潔で平面になった柔らかい場所にモニターを置きます。

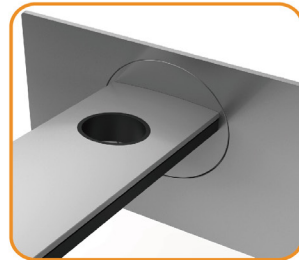
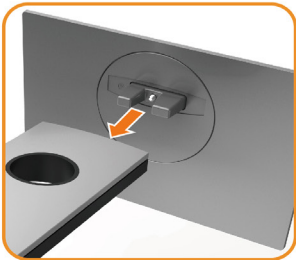


モニタースタンドを取り付けるには:

- 1 モニターの保護カバーを外して、モニターの前面がそれに対して下方向を向く形で設置します。
- 2 スタンド上部にある2つのタブをモニター背面の溝に差し込みます。
- 3 スタンドが所定の位置にはめ込まれるまで押します。



- 三角マーク▲が上を向いた状態でスタンド台を持ちます。



- スタンド台の突起したブロックを、スタンドのそれ専用の溝に合わせます。
- スタンド台ブロックをスタンドの溝にしっかりとはめます。



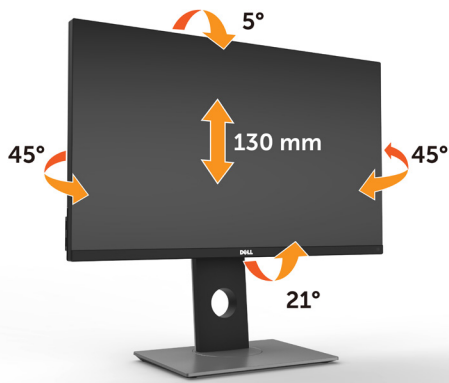
- ネジハンドルを持ち上げて、時計回りに回します。
- ネジをしっかりと締めた後に、くぼみにネジハンドルを折り畳んで収めます。

傾け、旋回させ、垂直に伸ばす

注意: これは、スタンド付きモニターに適用されます。他のスタンドをご購入された場合、セットアップ指示についてはそれぞれのスタンドセットアップガイドを参照してください。

傾き、旋回、垂直に伸

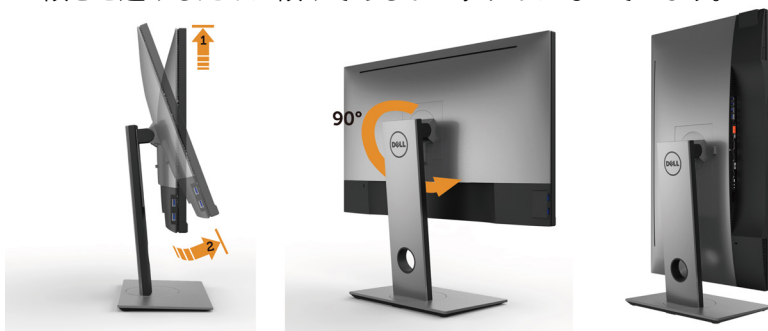
モニターにスタンドを接続すると、もっとも見やすい角度にモニターを傾けることができます。




注意: 工場からモニターが出荷される際には、スタンドは取り外されています。

モニターの回転

モニターを回転させる前に、モニターが垂直に拡張しているか、またはモニターの底部エッジの傾きを避けるために傾けてあるかいずれかになっています。




注意: Dellコンピュータで「ディスプレイ回転」機能(横対縦表示)を使用するには、このモニターに含まれていない最新のグラフィックスドライバが必要です。最新のグラフィックスドライバをダウンロードして更新するには、www.dell.com/supportに移動し、ビデオドライバのダウンロードセクションを参照してください。

-  **注意:** 縦表示モードに入っているとき、グラフィックを大量に使用するアプリケーション(3Dゲームなど)でパフォーマンスが落ちることがあります。


システムの「ディスプレイ回転設定」の調整

モニタを回転させた後、以下の手順でシステムの「ディスプレイの回転設定」を調整する必要があります。

-  **注意:** Dellコンピュータ以外でモニターを使用している場合、グラフィックス・ドライバのウェブサイトまたはお使いのコンピュータの製造元ウェブサイトに進み、オペレーティング・システムの回転についての情報を確認します。

ディスプレイの回転設定を調整するには:

- 1 デスクトップを右クリックして、プロパティをクリックします。
- 2 設定タブを選択し、アドバンストをクリックします。
- 3 ATIグラフィックスカードを使っている場合は、回転タブを選択して、お気に入りの回転を設定します。
- 4 nVidiaグラフィックスカードを使っている場合は、nVidiaタブをクリックして、左カラムでNVRotateを選択し、次にお気に入りの回転を選択します。
- 5 Intel®グラフィックスカードを使っている場合は、Intelグラフィックス・タブを選択して、グラフィックス・プロパティをクリックし、回転タブを選択し、次にお気に入りの回転を設定します。

-  **注意:** 回転オプションがない場合、または正常に作動しない場合は、www.dell.com/supportで、グラフィックス・カード用の最新ドライバをダウンロードしてください。

モニターの接続


 **危険:** このセクションの手順を始める前に、**安全上の注意**に従ってください。

モニターをコンピューターに接続するには:

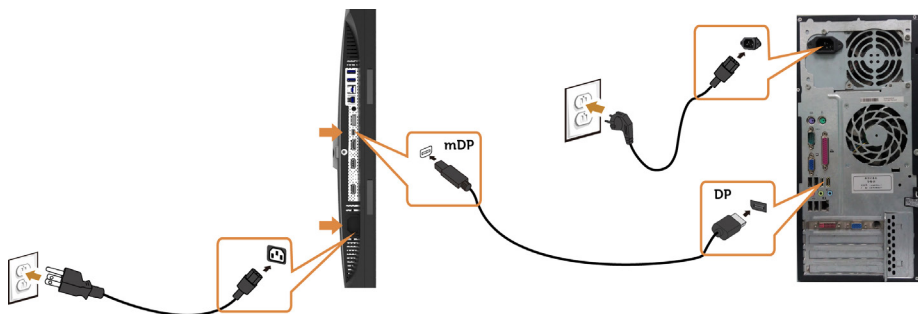
- 1 コンピューターの電源を切ってください。
- 2 モニターとコンピューターをmDP-DP/HDMI/USBケーブルで接続します。

(回転させてケーブルに接続するため、モニターを垂直に延在して完全に傾けます。[モニターの回転方法](#)をご覧ください。)

- 3 コンピューターの電源を入れてください。
- 4 Monitor OSD Menuで正しい入力ソースを選択しコンピューターの電源を入れてください。

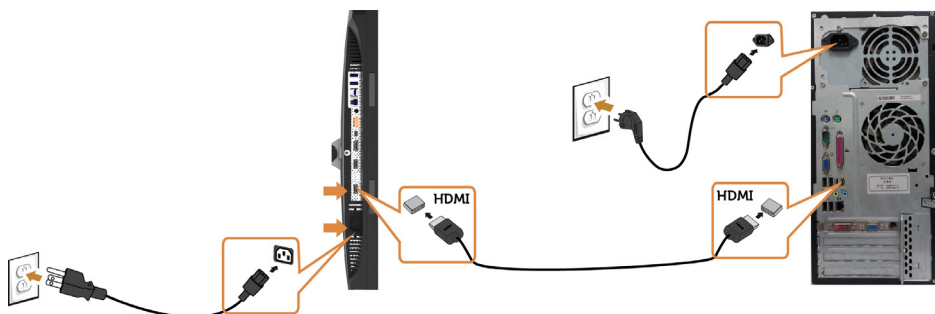
-  **注意:** UP2X16Dのデフォルト設定では通常DP 1.2。DP 1.1グラフィックスカードは表示されません。デフォルト設定を変えるには「[製品特有の問題 - PCにDP接続を使用したとき画像が表示されない](#)」を参照してください。

DP (または、mDP)ケーブルの接続

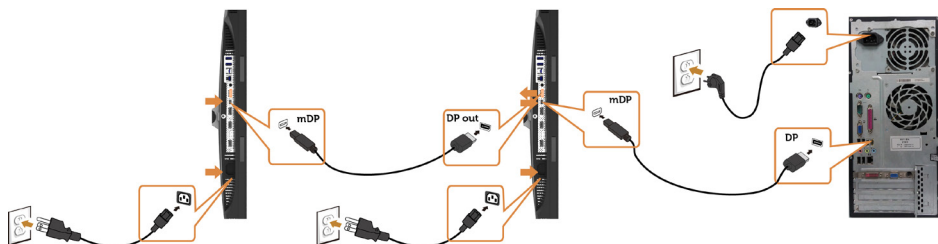


注意: デフォルトはDPポートです。画面で入力ソースを選びmDPに切り替えてください。

HDMIケーブルの接続(オプション)



DP MST(マルチストリームトランスポート)機能用のモニタを接続します



注意: はDP MST機能をサポートします。この機能を使用するには、PCグラフィックスカードがMSTオプションでDP1.2に認証されている必要があります。

注意: ディスプレイポート出力コネクタを使用する場合には、ゴム製のプラグを取り外してください。

USB ケーブルの接続

DP-mDPケーブルの接続を完了した後、以下の手順に従ってUSB 3.0ケーブルをコンピューターに接続し、モニターのセットアップを完了します。

1 a. 1つのコンピューターの接続

アップストリームUSB 3.0ポート(ケーブルは同梱)をお使いのコンピューターの適切なUSB 3.0ポートに接続します。

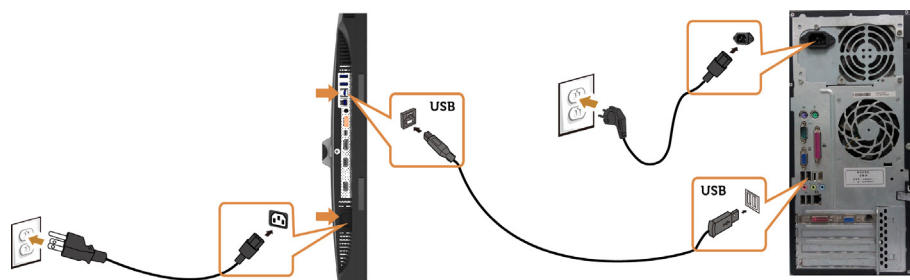
b. 2つのコンピューターの接続

2つのコンピューター上のUSB 3.0ポートにアップストリームUSB 3.0ポートを接続します。その後OSDメニューを使って、2つのUSBアップストリームソースと入力ソースの間を切り替えます。USB選択スイッチをご覧ください。

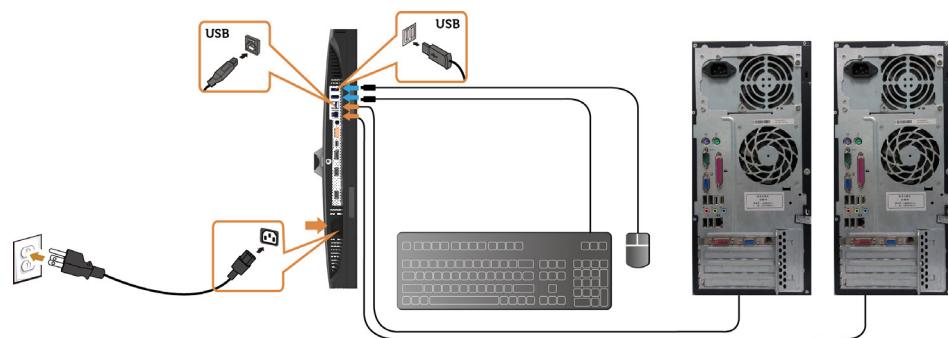
注意: モニターに2つのコンピューターを接続する場合、OSDメニューからUSB選択設定を変更して、モニターのキーボードおよびマウス専用USBダウンストリームポートに2つのコンピューターからの別の入力信号を割り当てることができます。(詳細はUSB選択をご覧ください)

2 USB 3.0周辺機器をモニターのダウンストリームUSB 3.0ポートに接続します。

3 お使いのコンピューターおよびモニターの電源ケーブルを近くのコンセントに差し込みます。



a. 1つのコンピューターの接続







b. 2つのコンピューターの接続

4 モニターとコンピューターの電源を入れます。

モニターに画像が表示される場合、取り付けは完了です。モニターに画像が表示される場合は、トラブルシューティングを参照してください。

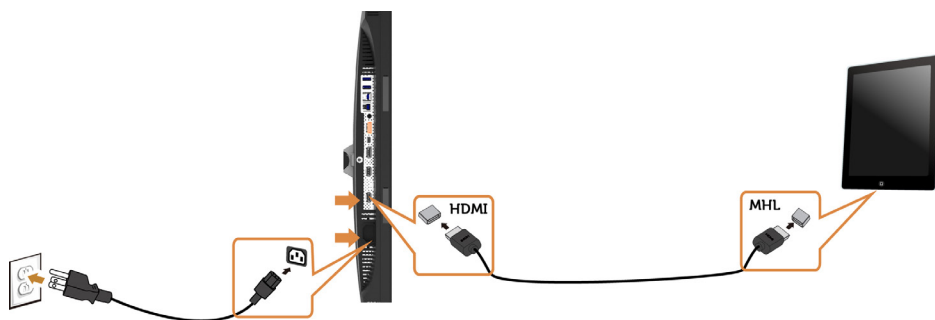
モバイル高品位リンク(MHL)を使用する

-  **注意:** このモニターはMHL対応です。
-  **注意:** MHL機能を使用するには、MHL認定されたケーブルと、MHL出力に対応しているソースデバイスのみを使用します。
-  **注意:** MHLソースデバイスによっては、画像が表示されるまで数秒以上かかることがあります。
-  **注意:** 接続されたMHLソースデバイスがスタンバイモードに入ると、モニターの画面が黒くなるか、MHLソースデバイスの出力に応じて以下のメッセージを表示します。



MHL接続を有効にするには、以下の手順を実行してください。

- 1 お使いのモニターの電力ケーブルをAC出力に差し込んでください。
- 2 MHL認定ケーブルを使用して、MHLソースデバイスの(マイクロ)USBポートとモニターのHDMI (MHL) ポートを接続します(詳細は[底面図](#)を参照)。
- 3 モニターとMHLソースデバイスをオンにします。



- 4 OSDメニューを使用して、モニターの入力ソースをHDMI (MHL) にします(詳細については[オンスクリーンディスプレイ\(OSD\)メニューの使用](#)を参照)。
- 5 モニターに画像が表示されない場合には、[モバイル高品位リンク\(MHL\) 特有の問題](#)を参照ください。

まとめケーブル



モニターとコンピューターに必要なケーブルをすべて接続したら（ケーブル接続については、[モニターの接続](#)を参照）、上記に示すようにすべてのケーブルを整理します。

モニタースタンドの取り外し

△ **警告:** 台を取り外している間にLCD画面に傷が付かないように、モニターは必ずきれいな面に置くようにしてください。

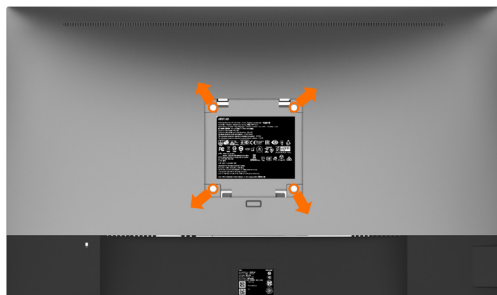
🔧 **注意:** 付属スタンドを取り付けるには、以下の手順を実行します。他のスタンドを購入された場合は、スタンドに付属された説明書を参照してください。

スタンドを取り外す:

- 1 柔らかい布やクッションの上にモニターを置きます。
- 2 スタンドリリースボタンを押し下げます。
- 3 スタンドを持ち上げ、モニターから離します。



壁取り付け(オプション)



注意: 壁取り付けキットにモニターを接続するには、M4 x 10 mmネジを使用します。


VESA互換の壁取り付けキットに付属された説明書を参照してください。

- 1 モニターを、柔らかい布またはクッションを敷いた安定した平らなテーブルの上に置きます。
- 2 台を取り外します。
- 3 フィリップス製プラス(+)スクレュードライバーを使用して、プラスチックカバーを固定している4つのネジを外します。
- 4 壁取り付けキットからモニターに取り付けブラケットを取り付けます。
- 5 壁取り付けキットに付属する取扱説明書に従って、壁にモニターを取り付けます。

注意: UL、CSA、GSリストの壁掛けブラケット使用のみ、最小負荷重量 4.10 kg (UP2516D)/4.56 kg (UP2716D)

モニター の 操作

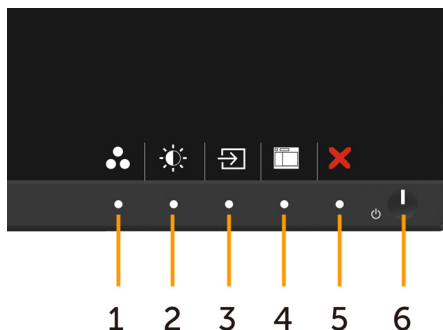
モニター の 電源 を 入れる

 ボタンを押してモニターをオンにする。









フロントパネルコントロールの使用

表示されている画像の特性を調整するには、モニターの前面にあるコントロールボタンを使用します。これらのボタンを使用してコントロールを調整するとき、OSDには変更される特性の数値が表示されます。



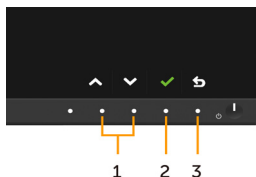
次の表は、前面パネルのボタンを説明しています。





フロント-パネルボタン	説明
1  ショートカットキー： プリセットモード	このボタンを使用して、プリセットカラーモードの一覧から選択することができます。
2  ショートカットキー： 輝度/コントラスト	このボタンを使用して、 輝度/コントラスト メニューに直接アクセスします。

フロント-パネルボタン	説明
<p>3</p>  <p>ショートカットキー： 入力信号</p>	<p>このボタンを使って、入力ソースのリストから選択します。</p>
<p>4</p>  <p>メニュー</p>	<p>このボタンを使用して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) を起動し、OSDでオプションを選択します。 メニューシステムにアクセスを参照ください。</p>
<p>5</p>  <p>終了</p>	<p>このボタンを使用して、メインメニューに戻ったり、OSDメインメニューを終了します。</p>
<p>6</p>  <p>電源 (電源ライトインジケータ 付き)</p>	<p>電源ボタンを使用して、モニターをオンにしたりオフにしたりします。 白い LED は、モニターの電源が入り、完全に機能することを示しています。 白く光るLEDは、DPMS省電力モードを示しています。</p>

フロント-パネルボタン

画像の設定を調整するには、モニターの前面にあるボタンを使用します。




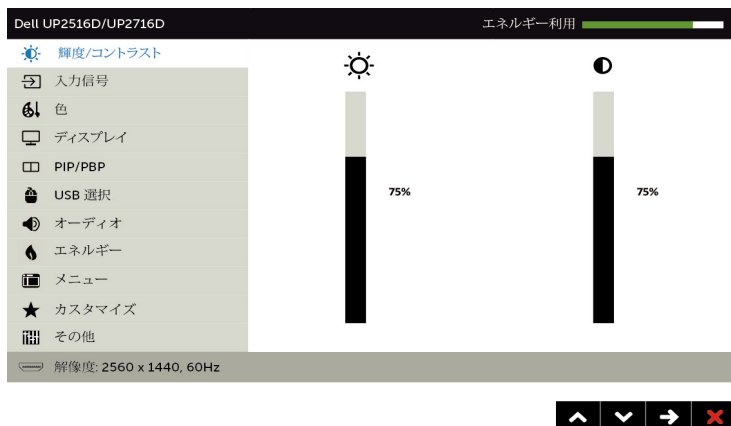
フロント-パネルボタン	説明
<p>1</p>   <p>上 下</p>	<p>上 (増加) と下 (減少) キーを使用して、OSDメニューの項目を調整します。</p>
<p>2</p>  <p>OK</p>	<p>選択を確定するにはOKキーを使用します。</p>
<p>3</p>  <p>戻る</p>	<p>前のメニューに戻るには、戻るキーを使用します。</p>












オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューの使用

メニューシステムにアクセス

注意: 別のOSDメニューに移動、OSDメニューを終了、またはOSDメニューが消えるのを待つと、OSDメニューを使用して行った任意の変更は、自動的に保存されます。

- 1 OSDメニューを起動し、メインメニューを表示するには、 ボタンを押します。



- 2  と  ボタンを押して、オプション間を移動します。別のアイコンに移動すると、オプション名がハイライトされます。
- 3  または  ボタンを1回押して、ハイライトしたオプションをアクティブにします。
- 4 希望のパラメーターを選択するには  と  ボタンを押します。
- 5  ボタンを押してサイドバーに入り、メニューの表示ランプに応じて、 または  ボタンを使用して変更します。
- 6 メインメニューに戻り別のオプションを選択するには  ボタンを1回押します。また、 ボタンを2、3回押すと、OSDメニューが終了します。

アイコンメニューとサブメニュー 説明



Brightness/ Contrast (輝度/ コントラスト)

このメニューを使用して、輝度/コントラスト調整をアクティブにします。



Brightness (輝度)

輝度はバックライトの明るさを調整します(最小0、最大100)。

⬆️ ボタンを押して、輝度を上げます。

⬇️ ボタンを押して、輝度を下げます。

注意: ダイナミックコントラストがオンになると、輝度の手動調整が無効になります。

Contrast (コントラスト)

輝度を最初に調整し、次にさらに調整が必要な場合にのみ、コントラストを調整します。

⬆️ ボタンを押してコントラストを増加させ、⬇️ ボタンを押してコントラストを下げます(0から100まで)。

コントラストはモニターの明るい部分と暗い部分との明暗の差を調整します。



Input Source (入力ソース)

モニターに接続された異なるビデオ入力を選択するには、入力ソースメニューを使用します。

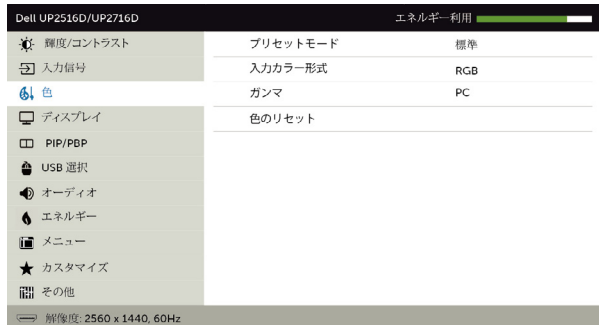


DP	DPコネクタを使用している場合は、 DP(DisplayPort) 入力を選択します。 →を押して、 DP 入力ソースを選択します。
mDP	mDPコネクタを使用している場合は、 mDP(Mini DisplayPort) 入力を選択します。 →を押して、 mDP 入力ソースを選択します。
HDMI(MHL) 1	HDMI(MHL) 1コネクタを使用している場合は、 HDMI 入力を選択します。 →を押して、 HDMI(MHL) 1 入力ソースを選択します。
HDMI(MHL) 2	HDMI(MHL) 2コネクタを使用している場合は、 HDMI 入力を選択します。 →を押して、 HDMI(MHL) 2 入力ソースを選択します。
自動選択	自動選択を選択するには、→を使用します。モニターが使用可能な入力ソースをスキャンします。
Reset Input Source (入力信号のリセット)	モニターの 入力ソース を工場出荷時のデフォルトにリセットします。



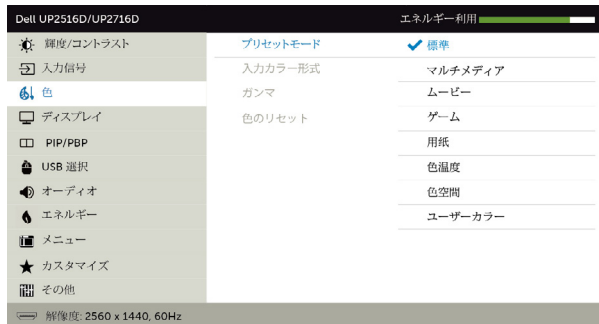
Color (色)

色設定モードを調整するには[カラー]メニューを使用します。



Preset Mode (プリセットモード)

プリセットモードを選択すると、一覧から、標準、マルチメディア、映画、ゲーム、紙、色温度、色空間、カスタムカラーを選択できます。



- **Standard (標準)**: デフォルトのカラー設定です。これはデフォルトのプリセットモードです。
- **Multimedia (マルチメディア)**: マルチメディアアプリケーションに最適です。
- **Movie (映画)**: 映画に最適です。
- **Game (ゲーム)**: ほとんどのゲームアプリケーションに最適です。
- **Paper**: テキストを表示するのに最適な輝度と鮮明度の設定をロードします。色付き画像に影響を及ぼすことなく、紙媒体をシミュレートするために、テキストと背景を融合します。RGB入力形式のみに利用できます。

- **色温度:** 画面はスライダーを5,000Kに設定すると、赤/黄色の色合いを持つ暖かい表示になります。また、スライダーを10,000Kに設定すると、青の色合いを持つ涼しい表示になります。
- **色空間:** 色空間を **Adobe RGB、sRGB、Rec 709、DCI-P3、CAL1、CAL2。**



- **Adobe RGB:** このモードはAdobe RGB (カバー率100%)に対応しています。
- **sRGB:** 100% sRGBをエミュレート。
- **Rec 709:** このモードではRec 709規格に100%準拠します。
- **DCI-P3:** このモードではデジタルシネマ向けカラー基準DCI-P3を98%再現します。
- **CAL1/CAL2:** Dell Color Calibration Softwareまたは他のDell承認のソフトウェアを使用してユーザーが校正したプリセットモード。Dell Color Calibration SoftwareはX-rite 比色計i1Display Proと連動します。i1Display Proは、Dell Electronics、ソフトウェアとアクセサリのWebサイトから購入できます。

注意: sRGB、Adobe RGB、Rec 709、DCI-P3、CAL1 および CAL2 の精度は RGB 入力色形式に最適化されています。

注意: 工場リセットを使用すると、CAL1とCAL2のすべてのキャリブレーション済みデータが削除されます。

- カスタムカラー：手動でカラー設定を調整することができます。▲と▼ボタンを押して、赤、緑、青の値を調整し、独自のプリセットカラーモードを作成します。

▲と▼ボタンを使用して、利得、オフセット、色合い、彩度

ユーザーカラー

✓ 利得

オフセット

色相

彩度



- **利得**: 選択して入力RGB信号の利得レベルを調整します (デフォルト値は100)。
- **オフセット**: 選択してRGBブラックレベルオフセット値 (デフォルト値は50) を調整し、モニターの基調色をコントロールします。
- **色合い**: 選択して入力RGBCMY色合い値を個別に調整します (デフォルト値は50)。
- **彩度**: 選択して入力RGBCMY彩度値を個別に調整します (デフォルト値は50)。

Input Color Format (入力カラー形式)

ビデオ入力モードを以下に設定可能です。

RGB: モニターがHDMIケーブルを使用してコンピューター(またはDVDプレイヤー)に接続されている場合や、MHLケーブルを使用してMHLデバイスに接続されている場合にはこのオプションを選択します。

YPbPr: お使いのDVDプレイヤーがYPbPr出力のみをサポートしている場合にこのオプションを選択します。



Gamma (ガンマ) ガンマをPCまたはMACに設定できます。

Reset Color (色のリセット) モニターの色設定を工場出荷時のデフォルトにリセットします。



Display (ディスプレイ)

画像を調整するには、ディスプレイを使用します。



Aspect Ratio (アスペクト比)

画像比をワイド16:9、4:3、または1:1に調整します。

Monitor Sleep (モニタースリープ)

タイムアウト後スリープ:タイムアウト後、モニターはスリープ状態に入ります。

スリープなし:モニターは常にスリープ状態になりません。

Sharpness (シャープネス)

画像をシャープまたはソフトにします。

⬆️ または ⬇️ を使ってシャープネスを「0」～「100」の範囲で調整します。

動的コントラスト

コントラストレベルを高くして、よりシャープで詳細な画質を表示します。

👉 ボタンを押して[ダイナミックコントラスト]の「オン」または「オフ」を選択します。

注意:ゲームモードとムービーモードを選択する場合、ダイナミックコントラストではコントラストが高くなります。

応答時間

応答時間は、標準または高速に設定することが可能です。

MST

DPマルチストリーム転送、オンにするとMSTが有効となり(DP出力)、オフにするとMST機能が無効になります。

統一性補正

画面の輝度および色の統一性補正設定を選択します。 **調整済み**は工場出荷時のデフォルトの調整済み設定です。

統一性補正を使用すると、画面の異なる領域を中心に対して調整し、画面全体で統一の取れた輝度と色を達成することができます。

ディスプレイ情報

モニターの現在の設定を表示します。

Reset Display (画面のリセット)

ディスプレイ設定を工場出荷時のデフォルトに戻します。



PIP/PBP

この機能は別の入力ソースから取り込んだ画像が表示されたウィンドウを映し出します。そのため、異なるソースからの2つの画像を同時に表示することができます。






メインウィンドウ	サブウィンドウ			
	DP	mDP	HDMI/MHL1	HDMI/MHL2
DP	X	√	√	√
mDP	√	X	√	√
HDMI/MHL1	√	√	X	√
HDMI/MHL2	√	√	√	X

注意: PIP/PBP機能を使用すると、DP MST(デジチェーン)機能は無効となります。

PIP/PBP モード PBP(ピクチャーバイピクチャー)モデルを**PIP小**、**PIP大**、**PBPアスペクト比**、または**PBPフィル**に調節します。**オフ**を選択してこの機能を無効にすることができます。

PIP		PBPアスペクト比	
I II		I	II
PBPフィル		オフ	
I	II	I	

アイコン メニューとサブメニュー 説明

PIP/PBP (サブ)	PIP/PBPサブウィンドウ用に、モニターに接続されている別のビデオ信号の中から選択します。
PIP位置	PIPサブウィンドウの位置を選択します。 ブラウズするには  または  を使用し、左上、右上、右下、左下を選択するには  を選択します。
USB選択スイッチ	PBPモードでUSBアップストリームソースの切り替えを行います。
ビデオ切替え	メインとサブビデオを切り替えます。
コントラスト(サブ)	サブビデオのコントラスト設定を変更します。

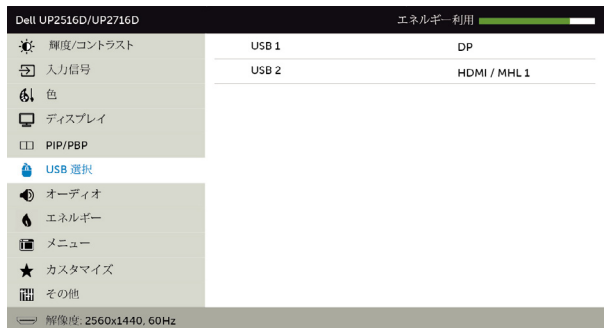


USB選択

一覧からUSBアップストリーム信号を選択します：DP、mDP、HDMI、およびMHL。コンピュータがアップストリームポートのいずれかが1つに接続されている場合、モニターのUSBダウンストリームポート(例：キーボードやマウス)を現在の入力信号で使用することができます。

入力ソース機能を選択して、ディスプレイとUSBアップストリームポート間の接続を変更することができます。

使用しているアップストリームポートが1つのみの場合、接続されているアップストリームポートがアクティブになります。

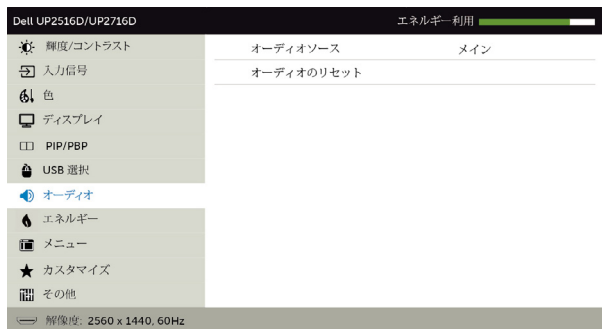


注意：データ破損や損失を防ぐため、USBアップストリームポートを変更する前には、モニターのUSBアップストリームポートに接続されているコンピュータがUSBストレージデバイスを使用していないか必ずご確認ください。

USB 1	 を使用してUSB 1の入力信号を示します。
USB 2	 を使用してUSB 2の入力信号を示します。



Audio (オーディオ)



オーディオソース

メインウィンドウまたはサブウィンドウからオーディオソースを設定できます。

オーディオのリセット

このオプションを選択し、デフォルトのオーディオ設定に戻します。



Energy (エネルギー)



Power Button LED (電源ボタン LED)

エネルギーを節約するために、電源ランプの状態を設定できます。

USB

モニターがスタンバイモードに入っている間、USB機能の有効または無効の切り替えることができます。

注意：スタンバイモードでUSBオン/オフが利用できるのは、USBアップストリームケーブルが抜かれているときのみです。USBアップストリームケーブルが差し込まれているときには、このオプションはグレー表示になります。

Reset Energy (エネルギーのリセット)

このオプションを選択し、デフォルトのエネルギー設定に戻します。

アイコンメニューとサブメニュー 説明



Menu (メニュー)

OSDの言語、メニューの画面表示時間などOSD設定を調整するには、このオプションを選択します。



Language (言語)

8言語から1つをOSD表示に設定します。(英語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、ポルトガル語(ブラジル)、ロシア語、簡体中国語、日本語)。

回転

OSDを90度反時計回りに回転します。ディスプレイの回転に従って、メニューを調整できます。

Transparency (透過性)

このオプションを選択して、とを使用してメニューの透明度を変更します(最小値 0/最大値 100)。

Timer (タイマー)

OSD継続時間: ボタンを押したあと、OSDがアクティブなままの時間を設定します。

と ボタンを使用して、スライダーを1秒刻みで5-60秒で調整します。

Lock (ロック)

ユーザーが調整にアクセスすることを制御します。ロックが選択されている場合、ユーザーは調整できません。すべてのボタンがロックされます。

注意: ロック機能 - ソフトロック (OSDメニューから) またはハードロック (「Exit」ボタンを6秒押ししてそのままにします)
ロック解除機能 - ハードロックのみ (「Exit」ボタンを6秒押ししてそのままにします)

Reset Menu (メニューのリセット)

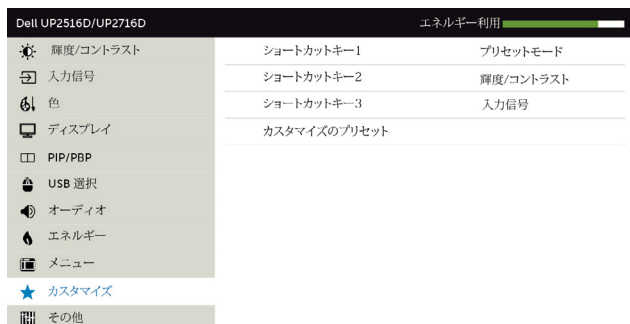
メニュー設定を工場出荷時のデフォルトに戻します。

アイコンメニューとサブメニュー 説明



Personalize (個人設定)

プリセットモード、輝度/コントラスト、入力ソース、アスペクト比、回転、PIP/PBPモード、USB選択スイッチ、またはビデオ切替えの中から選択して、ショートカットキーとして設定します。



Reset Personalization (個人設定のリセット)

ショートカットキーを工場出荷時のデフォルトに戻します。



Other (その他)



DDC/CI、LCDコンディショニングなどOSD設定を調整するには、このオプションを選択します。

ボタンサウンド

メニューで新しいオプションを選択するたびに、モニターでピーツという音がします。この機能により音声の有効または無効になります。

アイコンメニューとサブメニュー 説明

DDC/CI

DDC/CI (ディスプレイデータチャンネル/コマンドインターフェース) は、コンピュータのソフトウェアを使ってモニター設定の調整が可能です。

無効を選択して、この機能をオフにします。

最高のユーザーエクスペリエンスと最適なモニターパフォーマンスのために、この機能を有効にします。



LCD Conditioning (LCDコンディショニング)

残像の軽微な問題を低減することを助けます。

残像の程度によっては、プログラムの実行に時間がかかる場合があります。**有効**を選択して、プロセスを開始します。



Reset Other (他をリセット)

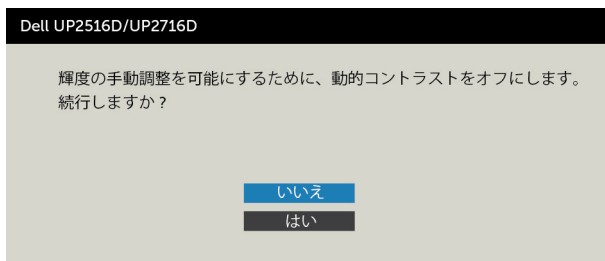
DDC/CIのようなその他の設定を工場出荷時のデフォルトに戻します。

Factory Reset (工場リセット)

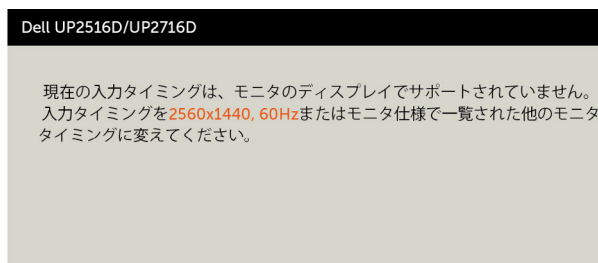
すべてのOSD設定を工場出荷時のデフォルトに戻します。

OSD警告メッセージ

動的コントラストが有効に設定されている場合は(ゲームまたはムービーなどのプリセットモード)、手動による輝度調整は無効になります。

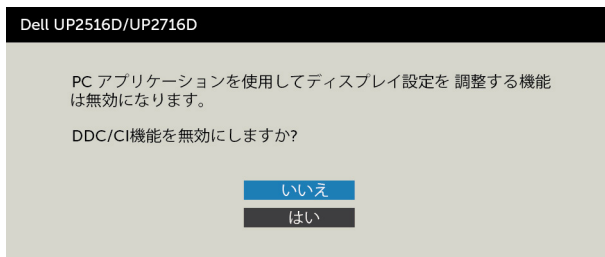


モニターが特定の解像度モードをサポートしない場合、次のメッセージが表示されます。



これはモニターがコンピューターから受け取る信号を同期できないことを意味しています。このモニターが使用できる水平および垂直周波数幅については、[モニターの仕様](#)を参照してください。推奨モードは2560 x 1440です。

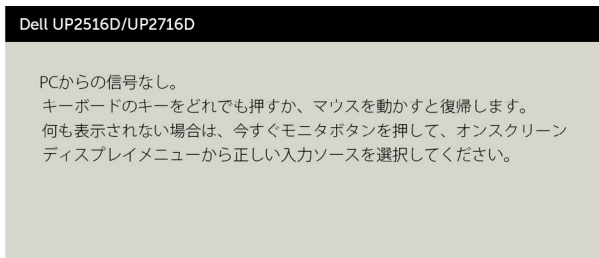
DDC/CI機能を無効にする前に、次のメッセージが表示されます。



モニターが省電力モードに入る際には、次のメッセージが表示されます。



OSDアクセスするには、コンピューターをアクティブにし、モニターを起動します。電源ボタン以外の任意のボタンを押すと、選択した入力に応じて、次のいずれかのメッセージが表示されます。



DP, mDPまたはHDMI (MHL) 1/HDMI (MHL) 2入力を選択されているが相当するケーブルが接続されていない場合、以下のような浮動ダイアログボックスが表示されます。



または



または



または



詳細については、[トラブルシューティング](#)を参照してください。

トラブルシューティング

△ **警告:**このセクションの手順を始める前に、[安全上の注意](#)に従って下さい。

セルフテスト

モニターには、お使いのモニターが正しく機能しているかをチェックできるセルフテスト機能があります。モニターとコンピューターが正しく接続されているにもかかわらず、モニター画面が黒いままの場合は、次のステップを実行し、モニターのセルフテストを実行してください。

- 1 コンピューターとモニターの電源を切ります。
- 2 コンピューターの裏側からディスプレイケーブルを抜きます。セルフテスト操作を正常に行うために、コンピューターの背面からデジタルとアナログケーブルを取り外します。
- 3 モニターの電源を入れます。

モニターがビデオ信号を感知せず、正しく動作する場合には、（黒色の背景に）フローティングダイアログボックスが画面に表示されるはずですが、セルフテストモードの間、電源LEDは白のまま点灯します。また、選択した入力に応じて、下に示されるダイアログボックスの1つが、画面をスクロールし続けます。



または



または



または



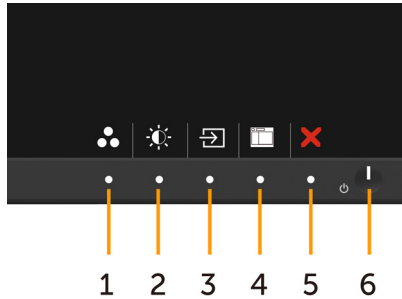
- 4 このボックスは、ビデオケーブルが切断または破損した場合にも、通常システム操作時に表示されます。
- 5 モニターの電源を切り、ビデオケーブルを再接続します。次に、コンピューターとモニターの両方の電源を入れます。

先の手順を使用しても、モニター画面がブランクのままの場合、モニターは正しく機能していますので、ビデオコントローラーとコンピューターをチェックして下さい。

ビルトイン診断

モニターはビルトイン診断ツールを持ち、画面の異常がモニターに内在する問題なのか、コンピューターやビデオカードの問題なのかを同定することに役立ちます。

注意：ビデオケーブルが抜かれ、モニターはセルフテストモードの場合のみ、ビルトイン診断を実行することができます。



ビルトイン診断を実行するには：

- 1 画面が汚れていないことを確認します（画面の表面に埃がないこと）。
- 2 コンピューターまたはモニターの裏側からビデオケーブルを抜きます。モニターはセルフテストモードに入ります。
- 3 フロントパネルのボタン1とボタン4を同時に2秒間押し続けます。灰色の画面が表示されます。
- 4 注意して画面の異常を調べます。
- 5 フロントパネルのボタン4をもう一度押します。画面の色が赤に変わります。
- 6 ディスプレイに異常がないか調べます。
- 7 ステップ5と6を繰り返し、緑、青、黒、白の画面で表示を調査します。

白い画面が現れると、テストは完了です。終了するには、もう一度ボタン 4 を押します。ビルトイン診断ツールを使用して画面の異常を検出できない場合、モニターは正常に機能しています。ビデオカードとコンピューターを調べて下さい。

共通の問題


次の表の内容は、起こりうるモニターの問題と、可能な解決策についての一般情報です。

一般的な症状	何が発生するか	可能な解決策
ビデオなし/電源 LEDがオフ	映像なし	<ul style="list-style-type: none"> モニターとコンピューターを繋ぐビデオケーブルが正しく、確実に接続されていることを確認します。 他の電子機器を使用して、電源コンセントが正しく機能していることを確認します。 電源ボタンが押し込まれていないか確認します。 入力ソースメニューで、正しい入力ソースが選択されているか確認します。
ビデオなし/電源 LEDがオン	画像または輝度がない	<ul style="list-style-type: none"> OSDから輝度とコントラストコントロールを上げます。 モニターのセルフテスト機能チェックを実行します。 ビデオケーブルコネクターのピンが曲がったり、折れていないか確認します。 ビルトイン診断を実行します。 入力ソースメニューで、正しい入力ソースが選択されているか確認します。
ピクセル抜け	LCDスクリーンにスポットがあります。	<ul style="list-style-type: none"> 電源を入れ直します。 ピクセルが永久的に抜けているのは、LCD技術では当然起こりうる欠陥です。 Dellモニター品質とピクセルポリシーについての詳細は、Dellサポートサイト http://www.dell.com/support/monitorsを参照してください。
常時点灯ピクセル	LCDスクリーンに明るいスポットがあります。	<ul style="list-style-type: none"> 電源を入れ直します。 ピクセルが永久的に抜けているのは、LCD技術では当然起こりうる欠陥です。 Dellモニター品質とピクセルポリシーについての詳細は、Dellサポートサイト http://www.dell.com/support/monitorsを参照してください。
輝度の問題	画像が暗すぎるまたは明るすぎる	<ul style="list-style-type: none"> モニターを工場出荷時設定にリセットします。 OSDを使用して、輝度およびコントラストを調整します。
安全に関連する問題	煙または火花が見える	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決のあらゆる手段を実行してはいけません。 Dellにすぐにご連絡ください。

一般的な症状	何が発生するか	可能な解決策
時々とぎれる問題	モニターのオン/オフの不調	<ul style="list-style-type: none"> • モニターとコンピューターを繋ぐビデオケーブルが正しく、確実に接続されていることを確認します。 • モニターを工場出荷時設定にリセットします。 • モニターのセルフテスト機能チェックを実行し、とぎれる問題がセルフテストモードでも現れるかどうか確かめます。
色が出ない	画像に色が無い	<ul style="list-style-type: none"> • モニターのセルフテストを実行します。 • モニターとコンピューターを繋ぐビデオケーブルが正しく、確実に接続されていることを確認します。 • ビデオケーブルコネクタに曲がったり破損したピンがないか、チェックします。
色がおかしい	画像の色が良くない	<ul style="list-style-type: none"> • アプリケーションに応じて、カラーメニューOSDでプリセットモードの設定を変更します。 • カスタムからR/G/Bの値を調整します。カラーメニューOSDの色。 • 拡張設定OSDで、入力色形式をPC RGBまたはYPbPrに変更します。 • ビルトイン診断を実行します。
静止画像を長時間モニターに映していたことによる画像の残像	静止画像の薄い影が画面上に表示される	<ul style="list-style-type: none"> • 電源管理機能を使用して、使用しないときはモニターを常に切るようにします（詳細については電源管理モードを参照してください）。 • 代わりに、動的に変化するスクリーンセーバーを使用して下さい。

製品固有の問題

固有の症状	何が発生するか	可能な解決策
画面の画像が小さすぎる	画像は画面の中央にあるが、全表示エリアを占めていない。	<ul style="list-style-type: none"> • 画像OSDメニューから、アスペクト比を確認します。 • モニターを工場出荷時設定にリセットします。
前面パネルのボタンを使用してモニターを調整できない	OSDが画面に表示されない	<ul style="list-style-type: none"> • モニターの電源をオフにして、電源コードを外し、もう一度コードを差し、電源を入れます。 • OSDがロックされているかどうか、チェックします。ロックされている場合、電源ボタンを6秒間押し続けロック解除します。メニューロックを参照してください。
ユーザーコントロールが押されると、入力信号なし	画像なし、LEDライトは白。	<ul style="list-style-type: none"> • 信号ソースを確認します。マウスを動かす、またはキーボードのキーを押して、コンピューターが省電源モードにないかを確認します。 • 信号ケーブルが正しく差し込まれているかどうかをチェックします。必要に応じて、信号ケーブルを差し込み直してください。 • コンピュータまたはビデオプレーヤーを再起動します。

固有の症状	何が発生するか	可能な解決策
画像が全画面に表示されない。	画像が画面の縦横すべてを使って表示されない	<ul style="list-style-type: none"> • DVDの異なるビデオ形式により、モニタが全画面で表示できないことがあります。 • ビルトイン診断を実行します。
PCにDP接続を使用しているとき、画像が表示されない	ブランク画面	<ul style="list-style-type: none"> • どのDP標準(DP1.1aまたはDP1.2)がグラフィックスカードで認定されているか確認します。最新のグラフィックスカードドライバをダウンロードして、インストールします。 • DP1.1aグラフィックスカードの中には、DP1.2モニターをサポートできないものもあります。モニター設定をDP 1.2からDP 1.1aに変更するには、OSDメニューを開いて、入力ソース選択でDP選択  キーを8秒間押し続けます。

モバイル高品位リンク(MHL)に特有の問題

固有の症状	何が発生するか	可能な解決策
MHLインターフェイスが動作しない	モニターにMHLデバイス画像が表示できない	<ul style="list-style-type: none"> • MHLケーブルとMHLデバイスがMHL認証されたものであることを確認してください。 • MHLデバイスがオンになっていることを確認します。 • MHLデバイスがスタンバイモードになっていないことを確認します。 • 実際に接続しているMHLケーブルが、OSDメニューで選択された入力ソースHDMI (MHL)と同じか確認します。 • MHLデバイスによってはリカバリに時間かかるものがあるため、MHLケーブル接続後は30秒お待ちください。

安全上の注意

光沢仕上げのベゼルの表示に関してはディスプレイの配置を考慮する必要があります。ベゼルは周辺光と明るい面からの反射を妨げる原因となります。

⚠ 危険:この説明書で指定された以外の制御、調整、手順の使用は、感電、電気事故、機械的な事故に繋がる場合があります。

安全指示については安全、環境、および規制情報 (SERI) をご覧ください。

FCC通知 (米国のみ) およびその他規制情報

FCC通知およびその他の規制情報については、規制コンプライアンスWebサイトwww.dell.com/regulatory_complianceを参照してください。

Dellに連絡

注意:有効なインターネット接続がない場合には、連絡情報は仕入請求書、荷造伝票、請求書、Dell製品カタログに掲載されています。

Dellでは複数のオンライン、電話によるサポートとサービスオプションを提供しています。国や製品によってサービスが利用できるかどうか異なります。また、一部のサービスはお住まいの地域では提供していないことがあります。

オンラインモニターサポートのコンテンツを表示するには、:

www.dell.com/support/monitors にアクセスします。

Dellの販売、技術サポート、または顧客サービス問題に連絡するには:

- 1 www.dell.com/support にアクセスします。
- 2 ページの左上に表示されている国/地域の選択ドロップダウンメニューから、選択した国または地域が正しいか確認します。
- 3 国ドロップダウンメニューの隣にあるお問い合わせをクリックします。
- 4 必要に応じて、適切なサービスまたはサポートリンクを選択します。
- 5 ご自分に合った Dell への連絡方法を選択します。

モニタのセットアップ

画面解像度を2560 x 1440 (最大)に設定する

最高のパフォーマンスを達成するには、次のステップを実行してディスプレイ解像度を2560 x 1440ピクセルに設定します。

Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1 では:

- 1 Windows 8またはWindows 8.1の場合のみ、デスクトップタイルを選択してクラシックデスクトップ表示に切り換えます。
- 2 ディスプレイの設定の変更をクリックします。
- 3 画面の解像度のドロップダウンリストをクリックし、2560 x 1440を選択します。
- 4 OKをクリックします。


Windows 10 では:

- 1 デスクトップで右クリックし、「ディスプレイの設定をする」をクリックします。
- 2 ディスプレイの詳細設定をクリックします。
- 3 画面解像度のドロップダウンリストをクリックし、2560 x 1440を選択します。
- 4 適用をクリックします。

オプションに推奨されている解像度が表示されない場合、グラフィックドライバーを更新する必要がある場合があります。使用しているコンピューターシステムを最もよく表しているものを以下から選択し、与えられた手順を実行してください。

Dellコンピューター

- 1 www.dell.com/support/に行き、サービスタグを入力し、グラフィックカード用の最新ドライバをダウンロードします。
- 2 グラフィックスアダプターにドライバをインストールした後、解像度を再び2560 x 1440に設定してみてください。

 **注意:** 解像度を2560 x 1440に設定できない場合、Dellに連絡しこれらの解像度をサポートするグラフィックスアダプターについてお尋ねください。


Dell-以外のコンピューター

Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1 では:

- 1 Windows 8またはWindows 8.1の場合のみ、デスクトップタイルを選択してクラシックデスクトップ表示に切り換えます。
- 2 デスクトップを右クリックし、個人用設定をクリックします。
- 3 ディスプレイの設定の変更をクリックします。
- 4 詳細設定をクリックします。
- 5 ウィンドウの上部にある説明で、お使いのビデオカードメーカー (NVIDIA、ATI、Intelなど) を識別します。
- 6 グラフィックカード製造業者のWebサイトへ行き、更新されたドライバを見つけます(例えば<http://www.ATI.com>または<http://www.NVIDIA.com>)。
- 7 グラフィックスアダプターにドライバをインストールした後、解像度を再び2560 x 1440に設定してみてください。


Windows 10 では:

- 1 デスクトップで右クリックし、「ディスプレイの設定をする」をクリックします。
- 2 ディスプレイの詳細設定をクリックします。
- 3 ディスプレイアダプターのプロパティをクリックします。
- 4 ウィンドウの上部にある説明で、お使いのビデオカードメーカー (NVIDIA、ATI、Intel など) を識別します。
- 5 グラフィックカード製造業者のWebサイトへ行き、更新されたドライバを見つけます (例えば<http://www.ATI.com>または<http://www.NVIDIA.com>)。
- 6 グラフィクスアダプターにドライバをインストールした後、解像度を再び2560 x 1440 に設定してみてください。

 **注意:** 推奨された解像度を設定できない場合、コンピュータの製造元にお問い合わせになるか、ビデオ解像度をサポートするグラフィックスアダプタの購入を考慮してください。

お手入れのガイドライン

モニターの清掃

 **危険:** モニターを清掃する前に、コンセントからモニターの電源ケーブルを抜いてください。

 **警告:** モニターを清掃する前に、[安全上の注意](#)を読んで、これに従ってください。

モニターの開梱、清掃、取り扱いの際には、次の一覧にある手順に従うことを推奨します。

- 静電防止スクリーンを清掃するには、柔らかい清潔な布を水でわずかに湿らせませす。できれば、スクリーン清掃専用のティッシュまたは静電防止コーティング専用の洗剤を使用して下さい。ベンジン、シンナー、アンモニア、研磨クリーナー、圧縮空気は使用しないで下さい。
- モニターの清掃には、わずかに湿らせた柔らかい布を使用します。乳状の薄膜がモニター表面に残ることがあるので、洗剤は使用しないでください。
- モニターを開梱する際、白い粉があった場合には、布で拭いて下さい。
- モニターは注意して取り扱って下さい。黒い色のモニターは引っ掻くと白い擦り傷が残り、明るい色のモニターより目立ちます。
- モニターの最高画像品質を維持するために、動的に変化するスクリーンセーバーを使用し、使用しないときにはモニターの電源を切ってください。